

Yくんの頑張り

高校生のY君。夏休み当初は1日3時間時間計12日の予定を、3日延長！読解を克服したいと相談して来たので、勉強の仕方を教えた。まずは、文の理解に主語・述語の把握。次に、3種類の段落構成を教え、それを元に段落毎にキーセンテンス（作者の主張）を見つけ、作者の論理を掴む。その上で、文をゆっくり、じっくり読んで、正解するまで考える。彼にとって、それはもう大変な作業だったようだった。しかし結果は、国語ではなかなか取れなかった満点を取った。

中学生でもT君が、1日9時間計25日の過酷なスケジュールをこなし、学年トップを奪還。子ども達の頑張りは、まだまだ捨てたもんじゃあない。

サンタさん

「どうだった？」(母)「サンタさんみたいな先生だったよ。」(息子)ーその息子とは先日入塾してきた新中1のM君のこと。白髪交じりのあごひげ（今はすっかり白くなってます）に、白のダウンジャケット（中身は単なる綿、たった1980円ですから）の私を称しての言葉。

昨日の新中1クラスの授業は、冒頭この見事な表現で楽しく始まりました。起業した翌年の夏、由比の浜石岳野外活動センター（キャンプ場で現在は閉鎖）で、約150名の子供たちが3グループに分かれ、交互にこのキャンプ場に登って来て、2泊3日から1週間のキャンプを行ったことがありました。その時最初の私のニックネームが、「くまさん」。それがそのキャンプの終了時には約2週間に伸びたひげで「ひげぐまさん」となり、以後ずっとこのニックネームを使ってきました。寄る年波が頭髮に打撃を与えられ、更に髭も白髪も交じり始め、現在の風貌に。「サンタさん」かあ……。おでこから下の姿はその通りかも。昨日のM君の笑顔もよかったですね。